

# 静岡市環境大学2019 講座報告 3日目

## 演題：買い物から環境と交通を考える

(公財) 公害地域再生センター あおぞら財団 研究員 林 美帆様

場所：しずもーる沼上3F研修室

時間：10：15～12：15



## 講義のポイント

### 要点1：買い物ゲームで学ぶフードマイレージ

- グループごとに夕食のメニューを考える
- 夕食に必要な食材カード（値段と産地の記載あり）を、グループごとに決められた予算内で購入
- 購入した食材がどれだけのフードマイレージ（環境負荷）を与えているかを検証する

### 要点2：フードマイレージとは

- フードマイレージ（食品にかかる環境負荷）は輸送距離×重量×CO2排出係数（交通手段）で決まる
- 産地が遠いほどフードマイレージは高くなり、逆に地元の食材であればフードマイレージは低くなる
- 交通手段も大きな要素で、トラックで運ぶ場合、船で運ぶよりもCO2排出量が多い

### 要点3：日本におけるフードマイレージ

- 日本においては①食料自給率の低下や②高速道路網の発達等の要因によりフードマイレージが多い
- 上記①のような「生産要因」や②の「交通要因」に加え、消費者が選ぶ食材の多様化という「消費要因」も存在する
- 私たち消費者にとって、出来る限り地産地消を意識し、地元の食材及び国産の食品を選んで購入することが大切である

## 受講生の感想

- ◆フードマイレージ（フードマイルズ）という言葉の意味をゲーム形式で楽しみながら学習することができました。地図や画像、グラフが多くとてもわかりやすかった。フードマイルズに気をつけながら生活したいと思った。
- ◆身近な「食」をテーマにしたゲームでとてもわかりやすく、今後の取り組みへのイメージがしやすかった。関西弁の先生の語り口が楽しかったです。